

1. ブルーベリー50本を植えました

10月23日に多数の皆様のご協力を得て、センター敷地内のフェンス沿いに「ブルーベリー50本」を植えました。

朝9時30分から、地域の小学生を含む参加者37名で、6品種のブルーベリーを、秋晴れのなか和やかに植えました。

備北丘陵公園 齊木先生の模範実技を見て作業に入ったのですが、事前準備が行き届いていたことと、沢山の方にお集まりいただいたことで、作業がはかどり午前中で終了となりました。

| 植付け品種 | 数量 |
|-----------|-----|
| アーリーブルー | 10本 |
| トロ | 5本 |
| ノウザンカロライン | 5本 |
| ノウザンダロウ | 5本 |
| ノウザンデューク | 20本 |
| ブルーレイ | 5本 |
| 合計 6品種 | 50本 |



作業を終え みんなで集合写真



模範実技



作業風景



事前準備・・・「ユンボでの穴ほり、泥からの石の除去とバーク混ぜ、看板づくり、ピートモス練り、苗の確認」を9月11日から行いました。

ブルーベリーは落葉しません。植えて1ヶ月の50cmばかりの苗木ですが、その葉は赤く染まっております。今後成長し夏に実をつけ秋には紅葉し木造建物に彩をそえることでしょう。

2. ウィズコロナ（コロナと共存）時代の「収穫祭」にむけて

かねてから予定していた「収穫祭」は新型コロナにより2年連続で中止となりました。来年度こそはと、ウィズコロナ時代のイベント（屋外イベント）開催につなげられるように、種々の事業に取り組んでおりますので、その一端を紹介します。

（1）マルシェによる「賑わいづくり」

新型コロナの緊急事態宣言が解除後の10月2日に、口和「新月マルシェ」の会のご協力のもと、感染症対策をしながらセンター屋外で「おでかけ満月マルシェ」を開催し、地域の方や親子連れなど約100名の方が来られ、楽しく賑やかな1日となりました。

他地域と連携したマルシェは「交流の輪」が広がります。このたびの地元出店は1店舗でしたが、収穫祭に向けて出店数が増やせるよう取り組んで参ります。



（2）ガーデニングによる「屋外ステージづくり」

ガーデニング教室は、春花・秋花をウッドデッキの両サイド、また本館前花壇に秋花を植え、10月2日のマルシェに間に合わせました（中間成果の披露）。コロナ禍の緊急事態宣言で計画どおり進めなかった点もありますが、ウッドデッキは花に囲まれたステージとなりました。

また周囲にはブルーベリーを植付け、夏の収穫体験や秋の紅葉も楽しめるようになりましたが、今後も屋外の環境改善に取り組んで参ります。



デッキの左側花壇



デッキの右側花壇



本館前花壇



紅葉したブルーベリー

（3）「しいたけ榎木（植菌済）」のマルシェ出店準備

本年度の春に植菌した榎木は11月9日に、榎場へ本伏を行いました。やや雑菌が入ってしまいましたので、次回から植菌後本伏までの間の保管方法を改善することにしております。

現在、2年目の榎木の手配を行っていますが、教室メンバーで話し合い、収穫祭のマルシェ出店用の「植菌したシイタケ榎木」を準備しようということになり、それも見込んで手配中です。



3. 庄原市へ要望事項を提出しました

本年度の行政への要望事項として、11月1日に西城支所へ次の3点を提出しました。

- ① JR道後山駅舎の玄関口の扉等を修理願いたい。
- ② JR芸備線「備後落合発→新見行」列車を増便いただきたい。
東城・新見方面への「備後落合発 9:09 ⇒ 新見駅着 10:31」の列車を運行願いたい。
- ③ 国道183号線、西城トンネル南の西城川沿い（狭い部分）を拡張願いたい。

4. 庄原市議会「市民と語る会」において意見交換を行いました

庄原市議会の第1回目の「市民と語る会」が開催されました。

八銚地域は11月8日（月）19時00分から八銚自治振興センターで開催され、八銚自治振興区が予め提出した地域テーマは、

- ① 林業の活性化（製材工場の市内展開）…定住に向けた雇用の受け皿策も含めて…
- ② 人口減少環境下における生活交通問題 …定住に向けた条件整備の一環として…

の2つでしたが、内容のある意見交換ができました。

あいにく当日は風雨が強い悪天候下で、地域の参加者が5名程度と少なく残念でしたが、出席された5名の市議会議員さんには、課題をキチンと受け止めていただきました。

今後、これらのテーマについては西城町自治振興区とも連携して協議していく予定ですので、区民の皆様のご意見をお聞かせください。

5. 地域マネージャー業務の進行状況

(1) 交流事業関係

- ① コロナの緊急事態宣言下、ガーデニングについては参加者を絞って本館前の花壇も含めて秋花を植え、緊急事態宣言が解けた10月2日には「おでかけ満月マルシェ」行い、10月23日には地域の子供も参加して「ブルーベリー植樹会」を行うなど沢山のイベントを実施しました。
- ② 10月初旬発行の「ひばごんだより」（八銚にご縁のある都市部の方々向けに発行）では、いま旬の芸備線・木次線の今昔と、その利用促進を図るために官民を挙げた取り組みが始まったことなどを発信しました。
- ③ SNS等による情報発信は、継続して活動内容や地域が目指す方向に変化していている様子をホームページ、フェイスブック、インスタグラム、Youtubeで行っております。

(2) 高齢者の生きがいづくり活動（野菜販売関係）

- ① 今年のタマネギ供給は1.1tonで目標1.5tonの73%の達成です。未達の要因はベト病による落ち込みです。ベト病は農家においても有効な防御策が見当たらない状況のようですが、一部の農家の方の話では、早めの消毒（12月には1回目の消毒）をしたら良いとのことでした。一度試してみても良いかも知れません。
- ② その他の野菜は10月末で81千円の販売となり、年間目標15万円に対し54%の達成です。出荷農家はタマネギを含め25軒で昨年比8軒の増加となり、生きがい対策としての取り組みは広がっています。

(3) 自主防災、防犯関係

自主防災組織づくりはモデルケースとして取り組まれている八銚落合自治会と、中間の情報交換会の開催を検討しています。防犯については、年度末までに講座を開催する予定です。

6.「地域の小学4年生」…「鑄鍋和希（いなべかずき）さん」紹介

八銚は少子高齢化がすすんでいます。今後この地域を背負ってくれる子どもたち、小学生児童6名を低学年順に順次紹介させていただいています。

4回目となりました今回は西城町小鳥原にお住いの4年生「鑄鍋和希さん」にインタビューさせていただきましたので、紹介します。

●学校で好きなお勉強は何ですか？

・「理科です。生物が好きだからです。」

●学校から帰ったら何をしますか？

・「宿題をします。」

●休みの日は何をしますか？

・「晴れの日にはラジコンで遊びます。
雨の日にはテレビを見ます。」

●学校で楽しいことは何ですか？

・「遊ぶことです。勉強をするのも楽しいです。」

●クラスの数は何人いますか？

・「12人です。」

●大人になったら何になりたいですか？

・「お父さんみたいになりたいです。」

●友達とやってみたいことや、行ってみたい所はありますか？

・「自分の家に友達を呼んで、一緒に遊びたいです。」



鑄鍋和希さん

ご家族の方からひとこと

- ・ケガや病気にならず、元気で学校に行ってくれたら良いです。
- ・そして、大人になって好きな仕事に就いてくれたら嬉しいです。

和希君はお母さんと妹さんの3人で、10月2日にはマルシェ、10月23日にはブルーベリーを植えるセンターへ来てくれました。ブルーベリーが実をつけたらご家族やお友達と食べにきてくれることを楽しみにしています。

和希君は、家では妹の面倒を見たり、家の手伝いを良くする頼もしいお兄ちゃんだそうです。この度はありがとうございました。

7. 今旬の芸備線・木次線…利用促進について

庄原市芸備線・木次線利用促進プロジェクト推進会議（仮称）の活動が開始されつつあります。この会議につながる「庄原地域チーム、西城地域チーム、東城地域チーム」に関連する八銚地域には「道後山駅」「備後落合駅」「油木駅」がありますので、各自治会長がこのチームに参加されています。よって、これらに関する八銚自治振興区の活動は、総務企画部の担当案件（交流事業）として各自治会と連携し取り組みます。

11月10日には、西城地域チーム会議が開催され、今後の地域チームの取組み等について意見交換等を行いました。

また既に活動を開始している「木次線・芸備線県境付近関係者会」では、8月17日に奥出雲町の勝田町長を、10月27日には庄原市の木山市長を表敬訪問し、本関係者会で行っている活動状況を報告しました。